

2024 年度:こども園自己評価の報告書

旭丘こども園

評価項目	取り組み状況
教育・保育方針と内容	今年度の園内研究のテーマは『人と豊かに関わる為の土台づくり』とし、人的・物的、すべてを含んだ環境について取り組みを行った。子ども達は評価が気になったり、できることでも指示を待ったりという姿が見られた為、環境を見直し、子ども達が自ら行動できるよう取り組みを行った。 主体的に遊びたくなるような遊具やおもちゃを話し合い用意し、友達との共感や探索・探求心を刺激することをねらいとした。計画を立て、順番に整えていき、子ども達が学年クラスを超えて遊ぶ姿が見られた。室内の環境についても取り組み中。計画途中の為、来年度も継続して取り組む予定にしている。
健康支援	・手洗い指導、トイレの使い方、プライベートゾーンの話等年齢に応じた話を、保健師中心に行った。5歳児については、絵本を活用して思いやりの話等も保健指導の中で行っている。 ・園児一人一人の健康状態の把握をクラスと連携を取って行い、感染症拡大の予防に努めた。 ・玄関の保健コーナーを活用し、健康に関する絵本を掲示し情報発信を行った。
安全指導・危機管理	・総合避難訓練では、消防職員立ち合いの元、通報・初期消火・避難等行い、講評を受けた。あわせて、職員の水消火器による消火器の取り扱い訓練を行った。その様子を子ども達も見ることによって防災に関する意識に繋げていった。 ・他府県で起きた事故等の事例について、職員に情報提供し事故予防に努めている。 ・施設の危険個所の確認を複数職員で毎月行い、速やかに改善していくよう心掛けている。
食育の推進	・クラスごとに季節の野菜を栽培し、観察や水やり等を行い収穫。自分達で収穫した野菜を使ってクッキングを実施した。菜園活動はもちろんだが、クッキングして食べることで食への意欲が刺激されるので、クッキング活動についても引き続き取り組んでいきたい。
子育て支援（在園児および地域）	・常日頃から保護者との会話を心がけ、子育てに対する不安などを傾聴し、寄り添うよう心掛けてきたが、その中で、保護者と向き合っ - て話をしていくことの大切さを、職員間で共有し、関係を深めていく必要があり、引き続き取り組んでいく。 ・地域支援については、離乳食講座やおやつ講座、0.1.2歳の育ちの講座等を行い、同年齢の保護者が集まり話をする事で保護者同士がつながるきっかけとなった。

インクルーシブ教育保育	・子どもの困り感を感じつつ育ちに応じたねらいや配慮を考え、保護者と共に確認しながら個別支援計画を作成。会議等で支援の在り方やクラスの中で共に育つ教育保育の在り方を考えていった。
職員の資質の向上	・保護者アンケートより教育保育の取り組みがわかりにくいという結果が出ている。ドキュメンテーションを活用して可視化を図っているが、より多くの保護者が気軽に目にするができる配信アプリからの配信も考慮しつつ、伝達手段を創意工夫していきたい。
幼保こ小中の連携・接続	・近隣の泉丘小学校の校庭を借りて民間園と5歳児交流を行い、同年齢の友達との交流や、学校への親しみがわくようにしている。 ・就学する小学校と連携し、子どもの様子を見てもらい丁寧な引継ぎを行った。 ・学校見学では、学校のことを知る事で就学への期待が膨らんだ。不安もありながら、楽しみにしている姿が見られた。
評議員会	・今年度は、異年齢交流をテーマにいろんな形での園児達の交流を見ていただいた。園内研究のテーマを元に、乳児集会、幼児交流、造形月間遊びの交流、第十七中学校職場体験等を行い、異年齢の子ども達が関わる中に、友達と関わる楽しさや年下の友達から慕われることで自信を持ち意欲に繋がっていく姿等についてお伝えした。
その他	・年度の終わりではあるが、日本の伝統行事の取り組みについて考える機会があり、節分については、起源を貼り出し、「鬼って何？」鬼を知っていく取り組みとしていろんな鬼の絵本の紹介とクラスで読み聞かせの取り組みを行った。「鬼になってみよう」というテーマでグッズを置き、角をつけてみたりして写真撮影ができるようにコーナーを作った。 ・いろいろな行事について、来年度、由来や意味を知り、学び、どう取り組むのかを考えていきたい。子ども達には、見た目で判断したり、決めつけてみたりするのではなく、自分で考える習慣を身につけ、人権感覚を養ってほしい。

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

課 題	具体的な取り組み方法
教育保育の内容の充実と発信	就学前につけておきたい10の力や大事にしたい関わり等を職員で確認し実践していく。その過程を配信アプリを活用して配信しながら、クラスの子どもの様子を伝え、育ちの過程や教育保育内容を伝えていく。
職員の資質向上と人材育成	職員自身が何を学びたいのかを考え、研修の企画等に参加できるようにする。 会議等で、若い職員をはじめ、誰もが思ったことを発言できる環境の中で、主体的に行動できる役割分担を行っていく。

令和7年（2025年）3月31日

豊中市立 旭丘こども園

園長名 藤村昭美